

## アジール市民講座

# こども ころろ しゃかい 語ろう！ フォーラムin宇治 - 自閉症 に学び、共に生きる！ -

自閉症 が日本に紹介されてから今年で57年になります。戦後日本が大きく変貌していく中で、自閉症 に対する理解もまた時代状況とともに変化してきました。近年、自閉症 は脳の心理社会的機能の変調と言われていますが、私たちはあくまで生活世界の中で人間関係の生きにくさを映し出す合わせ鏡のようなものと考えています。

これまで私たち大人は、自閉症 といわれる子どもたちから多くのことを学んできました。しかし今、自閉症 概念が肥大化し、広汎性発達障害 という診断名で世界中を歩き回っています。

私たちは日本における 自閉症 の処遇史を振り返り、今一度、自閉症 のまなざしが語る もうひとつのコミュニケーション に耳を傾けたいと思います。そして、過剰診断で萎縮し硬直化した大人社会を解きほぐし、多様な子どもごころを取り戻そうではありませんか。

主 催 : NPO 法人 アジール舎・日本臨床心理学会関西委員会

日 時 : 2009年9月27日(日)

会 場 : JR 宇治駅前交流プラザ ゆめりあ うじ

〒611-0021 宇治市宇治里尻5-9 .0774-39-9377

内 容 〔第1部〕 シンポジウム 午後1時～5時

資料代 500円(コーヒー付き)

### シンポジスト

竹 中 均 (小学生の父親・社会学者)

鈴木 留美子 (34歳青年の母親・親の会代表)

林 隆 造 (36歳青年の父親・自営業)

石 神 亙 (児童青年精神科医)

進 行

亀 口 公 一 (児童デイころぼっくる所長)

〔第2部〕 交流会(別会場) 午後5時30分～8時

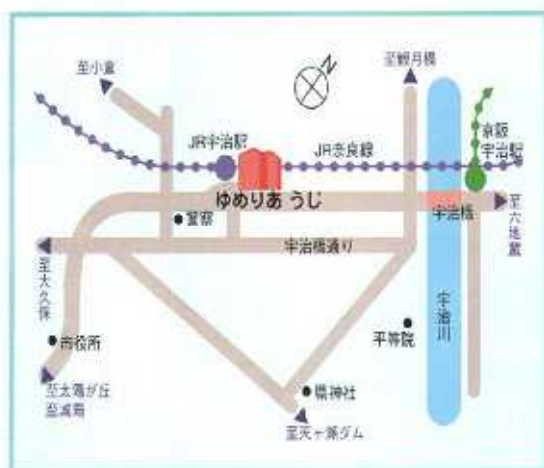
参加費 3,000円程度

## 主催者からのおさそい

シンポジストの皆さんは、大阪や京都で長く深く「自閉症」と関わってこられた方ばかりです。今回はできるだけ宇治市という身近な生活の場での話題を中心に、気軽に話し合える場にしたいと思います。当日は、宇治市障害者生活支援センター「そら」の鳥羽耕造さんにもご協力いただくことになっています。私たちは、このフォーラムが顔の見える支援や共に生きる関係を大切にする出発点になればと願っています。是非ご参加下さい。

参加希望の方は、以下にご記入の上FAXでお申し込み下さい。  
申込先：NPO法人アジール舎事務局 FAX 0774-34-2382

<交通 機関> JR「宇治」駅すぐ横  
京阪「宇治」駅から 徒歩約10分



### フォーラム実行委員

亀口 公一 (NPO 法人アジール舎)  
竹之下雅代 (ウィメンズカウンセリング京都)  
谷奥 克己 (日本臨床心理学会関西委員会)  
渡辺三知雄 (日本臨床心理学会関西委員会)  
松井 芳子 (宇治川福祉の園)  
辻井 由子 (宇治市障害児・者父母の会)  
亀口 誠子 (NPO 法人アジール舎)  
林 沙織 (京都大学4回生)

申し込み日 2009年 月 日

### アジール市民講座

こども こころ しゃかい 語ろう! フォーラムin宇治 参加申込  
(いずれかに 印をつけて下さい)

第1部のみ参加

第1部・2部ともに参加

第2部のみ参加

お名前 \_\_\_\_\_

所属 \_\_\_\_\_

ご連絡先 (メールまたはFAXをお知らせ下さい。) \_\_\_\_\_